

ホタルを土湯に呼び戻すための活動を劇にして演じました。

(8) 土湯フィールドワーク

昨年は、荒井小学校、今年は佐倉小学校の5、6年生を招待して土湯ホタルフィールドワークを開催しました。

土湯小学校と同じ荒川の近くの学校を招待しているので、平成16年全国十級河川の水質現況で、阿武隈川の支流、荒川が日本一きれいな川になったことや水質の影響を受けやすいホタルについてのクイズを解きながら土湯の名所を紹介しました。

(9) 外国語でホタルを紹介

ALTの先生に英語で土湯のホタルや、ホタルマップの説明をしました。お礼に、先生からホタル(firefly)の「fly」からButterfly、Dragonflyなど、「fly」がつく昆虫を教えていただきました。



(10) ホタルリリー

今年学校のホタル、子池でとんだホタルの数と同じ数のホタルを折り紙で作、クリスマスツリーにかざり、地域の方にホタルを呼び戻す活動をアピールしました。

今年は冬にも
ホタルの光が！



○活動で工夫したこと、困ったこと

牛乳パックを雨水で洗おう作戦～ろ過装置作り～

今年から、福島市では学校の給食に出される牛乳のパックを洗うことになりました。しかし、毎日牛乳パックを洗うためにはたくさんのか水が必要となります。地球温暖化による水量の増大で幼虫が流れてしまうことや、牛乳を含んだ水をそのまま流してしまうことで土湯の環境が悪くなり、ホタルがまたなくなってしまう心配になりました。そこで、ろ過装置を作り、雨水や牛乳を洗った水をろ過して、その水を牛乳パック洗いに使用することにしました。



ろ過装置の設計図 ろ過装置作成



よし
言試して
みよう

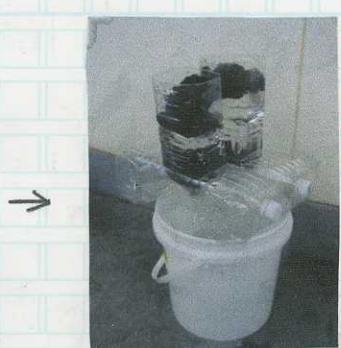
ろ過装置 1号完成



3過装置2号



→



→



3かそうちマン

3過装置4号

3過装置5号

地球温暖化が原因で
起ころる水生生物の流出
を防ぐんだ!!



(2) 結果

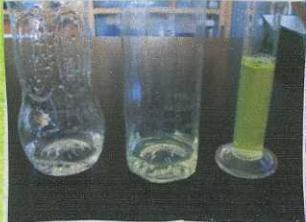
水道使用量 ($m \times m \times m$)

	9月の使用量	二酸化炭素排出係数	二酸化炭素(kg)
2005年	30	0.58	17.4
2006年	25	0.58	14.5
2007年	17	0.58	9.86

昨年より、9月の二酸化炭素の排出量を4.64kgも削減することができてほっとしました。

おまけ(ホタルの発光実験)

ホタルの光に興味を持ち、2つの物質が反応することによって光るホタルの発光実験を行いました。光っているのに熱が出ていくなくておどろきました。効率のよいエネルギーの使い方をして、熱を出さないホタルの光のような光を利用すれば、地球温暖化対策が進むのではないかと思いました。



○これからやりたいこと

学校に作ったビオトープをぼくたちの活動の中心としながら、荒川や鴨川など、自然が豊かで美しい景色を眺めることができます。そして、いつの日か足湯に入っている時にホタルが舞う姿が見られる土湯になるといいなあと思います。

3年間の活動から学んだことをいかし、これからもホタルの活動を継続していくとともに、他地域からホタルを連れてくるのではなく、地元のホタルを飼育することの大切さとそのためにも土湯地区の美しい川を守っていくことの必要性について学校から地域へ情報を発信していきたいと思います。